



発行所: 自由民主党京都府参議院選挙区第二支部  
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2  
ハウスドゥ四条ビル601  
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310

発行人: 二ノ湯 智

国会事務所  
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1  
参議院議員会館921号室  
TEL.03-6550-0921 FAX.03-6551-0921

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。  
題字: 栢木寛照

# えとす

平成28年 1・2月合併号  
No.283

京都の智恵を日本に活かす。  
二ノ湯 智 ホームページ <http://www.ninoyusatoshi.com>

## 力を発揮した自民、公明 門川民王勝で3選を飾る



投票締め切り直後、当選確実の報に万歳する門川事務所

### 伸び悩んだ共産候補

京都市長選挙は、地域政党・京都党の代表である村山氏が出馬するのではないかと注目されていたが、直前になって立候補を断念した。そのため、事実上、自民、公明、民主、社民党の推す現職の門川大作氏と共産党の本田久美子氏の一騎打ちとなった。過去の市長選挙は、保守中道と共産党候補者との激しい戦いの連続であった。しかも今回の選挙は、厳しい景観条例の施行で、事業者にかんがりの経済負担をもたらし、四条通りの歩道の拡幅問題では交通渋滞が発生、市民の間から、市長批判が沸騰、接戦が予想された。事前の世論調査も決して良くなかった。そこで、自民党はじめ推薦した各政党が危機感をバネに、頑張りを見せ、共産候補の2倍近い票を獲得、堂々3選を果たした。今回の選挙では、京都府下各地の自治体のトップも門川氏の応援に加わった。京都府の人口260万人のうち、約55%が住む京都市。京都市の存在は非常に大きい。門川氏は、山田京都府知事と協力して、オール京都で京都市圏の発展に取り組みと約束した。門川氏の活躍に期待したい。

(関連記事3画)

### 恒心

★自民党が政権の座を民主党に譲り渡し、野党になったのが、平成21年9月であった。自民党は再度、政権を奪還するために政権構想会議を立ち上げ、党の綱領を見直し、更に衆参国會議員

の選挙の在り方を検討した。構想会議の勧告にもとづいて、導入されたのが、公募方式であった。★従来、自民党の国會議員が引退、逝去した時、その後継者を決めるとき、一部の幹部が密室で選出することが多かった。民主的で、開かれた、透明性の高い方式で選ぶように、新しい選挙方法が導入された。★京都でも、2、3、4、6区の選挙区支部長を公募で決めた。宮崎謙介氏は3区に応募してきた。先ず履歴書、論文審査を行い、面接によって数人に絞り、最後は選考委員の投票で決めるのが、通常の方式である。宮崎氏の場合も同じ方式が取られた。★今となつては、加藤紘一氏の令嬢・現衆議院議員の鮎子さんとの離婚の原因はどうだったのか、最低でも本人を知る保証人を付けるべきであったとか、色々という人がいるが、だれもがまさかこんな人とは思わなかったに違いない。★宮崎氏が辞任を表明した日、彼を知る多くの人たちに会った。男性は比較的冷静であったが、女性の場合、極めて厳しい意見が多かった。長身、知的で端正な好青年である宮崎氏に女性ファンは多かった。それだけに裏切られたとの思いを持つ女性が多いのだろう。★では公募方式には欠点が多いので、以前のような選考方法に戻すのか。それもまた問題があるかも知れない。全国的に、広く人材を募ることは決して間違いないと思う。その場合、応募者を良く知る政治家、第三者の保証人を義務付けるのも一つの方法ではないか。

## 二ノ湯議員、決算委員会で質問

平成28年1月21日、参議院決算委員会において、二ノ湯参議院議員は、自民党を代表して、約40分にわたり、安倍首相はじめ関係閣僚に、当面の課題について質問した。紙面の関係上、2、3、4月号に分割して要旨を掲載致します。

## ○二之湯智君

自民党の二ノ湯智です。総理は常日頃から、志のある国民を育て品格のある国家をつくる、教育の再興は国家の任と著書に書いておられます。若者が日本に誇りを持ち将来へ希望が持てる国に再興する、底力のある国民をつくり上げていく、それは私は教育にあると考えております。教育改革についての総理の御所見をお伺いしたいと思います。

## ○内閣総理大臣(安倍晋三君)

誰もが日本に生まれたことを誇りに思える品格ある国家を目指して、全ての子供たちが夢を実現するため世界トップレベルの学力と規範意識を身に付ける機会を保障することが教育の重要な目的であり、国家の責任であると、考えております。子供たちには無限の可能性が眠っており、それを引き出す鍵は教育の再生であります。引き続き、安倍内閣の最重要課題の一つとして教育再生に全力を挙げて取り組んでいきたいと思っております。

## ○二之湯智君

古来、日本人は、真面目でうそをつか

ない、あるいは人をだまさない、約束を守る、一生懸命働く、悪いことをしてはいけない、おてんとさまが見ているよと、そんな生き方を大事にしてきました。どうやらそれが崩れつつあるようです。日本人の良き伝統的な価値観、倫理観を取り戻さなければならぬと思えますけれども、総理、いかがお考えでしょうか。

## ○内閣総理大臣(安倍晋三君)

今、二ノ湯先生がおっしゃった、おてんとさまが見ているよ、この感覚なんだろうと。私が初めて当選したとき、同じ京都の伊吹先生から、おてんとさまが見ているよ、この感覚が君、大切なんだよと、このように説教されたことを今でも覚えているわけでございます。まさに、おてんとさまの下で恥ずかしくない行動を取ろうという良き伝統が生きている社会でありたいと思えます。そうした意味において、基本をしっかりとした教育の場においても教えていくことも大切だろうと、このように思います。

## ○二之湯智君

安倍首相は、戦後歴代政権の懸案でありました教育基本法の改正を成立させました。そして、昨年は、集団的自衛権行使を容認する平和安全法制の成立、これは本当に私は画期的なことではなかったかと思えます。そして、私は、安倍首相の政治哲学あるいは最終的な政治の理念の目標は憲法改正ではないかと思えます。

総理の憲法改正への思いとその戦略についてお尋ねをしたいと思います。

## ○内閣総理大臣(安倍晋三君)

国民主権、基本的な人権の尊重、平和主義といった現行憲法の基本的な考え方を維持することは当然の前提として、その上で必要な改正は行うべきものと考えております。二ノ湯先生にも積極的な御参加をいただき、谷垣総裁の下で自由民主党は憲法改正草案をお示しをしております。と同時に、言うまでもなく、憲法改正は、衆参各議院で3分の2以上の賛成を得て国会が発議し、そして国民投票で過半数の賛成を得る必要があります。そのため、より多くの会派の御支持をいただき、そして国民の理解を得るための努力が必要不可欠であろうと思えます。引き続き、新しい時代にふさわしい憲法の在り方について国民的な議論と理解が深まるよう努めてまいりたいと思っております。

## ○二之湯智君

1月15日、長野県軽井沢町で起きたスキーバス転落事故についてお尋ねをしたいと思います。平成24年の4月に関越自動車道で大きなバス事故がございました。それによって、国土交通省では、これを教訓に、輸送の安全を確保するため、貸切バス選定・利用ガイドラインを制定いたしました。にもかかわらず今回の事件であります。私は、法令を遵守しないバス会社が非常に多いのではないかと、このように思うわけでございますけれども、全ての業者に業界の団体に加盟させて、団体を通じて業界の質の向上を図るべきだと考えます。そして、二度と再びこのような悲惨な事故が起こらないようにするべきだと思います。大臣の御所見をお願いします。

## ○国務大臣(石井啓一君)

今回の事故を起こした事業者が下限割れ運賃での運行など安全管理上極めて不適切な状況であったことは、誠に遺憾であります。このため、貸切りバス事業者、旅行者の双方に対して制度の遵守を強く指導をいたします。また、今回の事故を踏まえた再発防止策につきましまして、有識者から成る検討委員会を今月中に設置をいたしまして、速やかに検討を進めてまいります。バス事業者の団体であります公益社団法人日本バス協会は貸切りバス事業者の安全性評価認定制度を実施しているところでありまして、今後、この制度の一層の活用を図るとともに、貸切りバス事業者に対してバス協会への加入促進の取組を進めてまいりたいと存じます。

## ○二之湯智君

1月の16日に台湾で総統選挙、立法院委員選挙が行われました。中国との関係に一定の距離を置き、独立志向の強い蔡總統の登場、そして民進党の躍進についてどういう感想をお持ちか、お聞かせをいただきたいと思います。

○国務大臣(岸田文雄君)

台湾における選挙の影響、予断を持つて私の立場からこの公の場で発言することは控えなければならぬとは思いますが、我が国としては、台湾をめぐる問題、これは、当事者間の対話によって平和的に解決されること、また地域の平和と安定に寄与すること、こうしたことを期待しながら、是非注視をしていきたいと存じます。日台関係につきましても、非政府間の実務関係として維持していくとの従来の立場を踏まえて、日台の協力あるいは交流、これを更に深めていきたいと考えております。



決算委員会で質問する二ノ湯議員

西田府連会長の強い引締め  
個人演説会は最低でも100人動員

前回の京都市長選挙は、民主党政権時代であり、自民党は一步下がった形での対応であった。今回は自民主導の選挙態勢となった。西田自民党府連会長は、厳しい選挙を勝ち抜くためには、自民党の

府会議員、市会議員が全力で取り組むことが重要と、府会議員、市会議員に対し、担当の個人演説会場は、小、中学校の講堂、体育館で行い、最低でも100人以上の動員をするようにはつばをかけた。西田会長の厳命の甲斐あって、期間中非常に厳しい寒さが続いたが、どの演説会場も多くの方々が会場に馳せ参じ、会場は大いに盛り上がりを見せた。最も多い会場は500人を超えた。演説会の大量動員と比例して、門川陣営の士気も徐々に高まってきた。後半に実施されたNHKの世論調査では、2人の候補者かなりの差をつけていた。そのため、NHKは投票締め切り直後の午後8時過ぎに、早々と門川氏当選確実の速報を流した。



四条河原町での最終の街頭演説で  
支持を訴える二ノ湯参議院議員

4月24日京都3区の補欠選挙  
自民も候補擁立を  
谷垣幹事長に要望

宮崎謙介氏の衆議院議員辞職に伴い、京都3区では、4月12日告示、24日に補

欠選挙が実施されることになった。民主党は比例の衆議院議員泉健太氏が立候補の意向を表明、共産も擁立の構え、おおさか維新の会は選考中である。自民党京都府連の西田会長は戦う意思を表明、3区の府会議員、京都市会議員はじめ、各級議員も戦うべしとの声が高い。先日実施された京都市、八幡市長選挙でも共産党の力の陰りは顕著であり、民主党も京都市長選挙では、支持層の約3割以上は共産党に流れていて、決して強いとは思われない。おおさか維新の会は京都南部で多少の支持層はあるかもしれないが、自民党が負けるとは考えられない。たとえ自民党議員の不祥事の辞任に伴う補欠選挙とは言え、戦うことなく、傍観しているだけでは夏の参議院選挙に大きな影響があるというのが京都府連の強い意思である。ぜひ、自民の候補者を擁立すべきだと地元選出国会議員が、15日と23日谷垣幹事長に要望した。党本部は、京都3区の有権者の風当たりは非常に強い、ここは謹慎して見送らなければ、北海道5区の補欠選挙にも悪い影響を及ぼしかねない。京都、北海道で負ければ、夏の参議院選挙に甚大な影響を与えるとの見解である。選挙までの残された時間は少ない。21日に京都府連では、議員総会を開き、京都3区で候補者を擁立、闘うことを再度確認した。地元の強い要望に耳を傾け、党本部が京都府連の意思を尊重することを求めたい。

八幡市長選現職堀口氏が堂々再選  
市会補欠自民奥村氏が栄冠

2月7日投票が行われた八幡市長選挙は、自民、公明、民主の各政党が推薦した現職堀口文昭氏が、おおさか維新の会、共産党推薦候補を大きく引き離して2度目の当選を果たした。八幡市は大阪に隣接した町、しかも大阪のベッタタウンとして発展した町だけに、おおさか維新の会の推薦候補が大きな脅威であったが、4年間の実績が高く評価され、堀口氏は有効投票の約6割近くの票を獲得した。市長選挙と同時に執行された市会議員補欠選挙(2名欠員)には4人が立候補し、自民党公認の奥村順一、おおさか維新の会公認の2人が当選した。この地域におけるおおさか維新の会の強さを示した。



当選した堀口氏にお祝いを  
述べる二ノ湯参議院議員



初陣を飾り喜ぶ奥村陣営

目標党員1000人達成

皆様のご協力に感謝致します

平成27年末までに1000人の党員獲得を達成するのが、全国会議員に課せられた義務でした。私は今までに築いた人間関係を頼りに、党員獲得に奔走しました。さらに、顧問をしている各種団体にもお願いし、この度1158人の党員を獲得することが出来ました。その後、入党して下さる方もあり、大変有り難いことです。しかし、この数字を維持することは、なかなか苦勞のいることです。皆様の協力に感謝し、今後も事務所一同努力することをお誓いし、御礼のご挨拶とさせていただきます。

平成28年2月吉日

参議院議員 二ノ湯 智

「新政経懇話会」入会のご案内

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。

是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会 年会費 1口1万円

入会申込・お問い合わせ先

二ノ湯さとし事務所 ☎075-315-2228

宮崎議員辞職、思わぬ影響

ポスターの貼替、リーフレットの修正

京都市長選挙も終わり、参院選用のポスターを貼ろうとした矢先、宮崎議員の不倫問題が浮上した。その時から、二ノ湯議員と宮崎議員のツーショットのポスターを剥がして欲しい、他のポスターと差し替えろという声が、3区の有権者から府会、市会議員の事務所に頻りに寄せられた。もちろん、二ノ湯事務所にも直接電話が掛かって来た。急遽、西田参議院議員とのポスターに切り換えているが、京都3区は補欠選挙が行われる。自民党の候補者が決まれば、予定候補者とのツーショットのポスターを貼らねばならない。さらに、二ノ湯支援の輪を広げるために、後援会のリーフレットを相当数作成した。そこには地元出身の衆参両議員の名前を掲載している。宮崎議員の辞任に伴い、宮崎氏の名前を消さなければならなくなった。一番手つとり早い方法は、印刷をし直すことであるが、資源の無駄遣いと多額の費用が必要となる。その為に、事務所では宮崎氏の名前にシールを貼って隠す作業をしている。思わぬ仕事が生務所に舞い込んで来た。政治は一寸先は闇であると言うが、今度の件で、その言葉を実感することが出来た。

身辺雑記

一、石原慎太郎氏が「天才」という表題の本を出版した。今地方創生が叫ばれて

いる。もし、田中角栄氏が失脚せず、彼の日本列島改造が実現していたら、今日のような地方衰退を招かなかったであろうという内容である。

一、いたいけな、かわい盛りの子供を両親が虐待を繰り返して、死に追いやってしまう事件が後を絶たない。抵抗手段もなく、抗議する言葉も持たない子供がかわいそうでならない。私はこんな事件に一番腹が立つ。

一、甘利大臣が辞任に追い込まれた。秘書が業者の罠にはまってしまった感じである。私も秘書経験が長いが、幸いにも私のボスは利権に縁遠い人であったため、政治家を利用する人は、事務所に立ち寄らなかつた。

一、高浜原発が再稼働する。厳しい原子力規制委員会の審査を合格したとは言え、万が一の事故を思うと、原子力は絶対反対だという人の意見も分かる。一方、地球温暖化の防止、安価な電力の提供を考えると、原子力の稼働もやむを得ない。

一、台湾でマグニチュード6.4の大地震が起こった。鉄筋が規定の半分しかない手抜き工事のマンションに住んでいた住民14人が犠牲となった。洋の東西を問わず、金儲けのために、不正をする人が絶えない。

一、高校球界のかつてのヒーロー清原和博が覚せい剤保持容疑の疑いで逮捕された。噂は以前からあったが、やっぱりという感じだ。調べによると選手時代から

薬を常用していたようである。何が彼を狂わせたのか。

一、北朝鮮が国連決議に反して、核実験を強行した。世界のごうごうたる非難にも耳を貸さず、今度は人工衛星を打ち上げた。金正恩の意図はどこにあるのか。北朝鮮は今後、どうなるのか。隣に厄介な国が存在するものだ。

「日本真生塾」例会のお知らせ

第65回 2月29日(月) 18時30分～21時

第66回 3月28日(月) 18時30分～21時

若くして日本的社会主義の理論を構築、急進的変革思想と具体策の提示により昭和の日本政治に大きな衝撃を与えた『北一輝』の実体に迫ります。

講師：岡本幸治 塾長

場所：龍谷大学アバンティ響都ホール (京都駅八条口前アバンティ9F)

※例会終了後に懇親会を予定しております。皆様のご参加お待ちしております。

<お問い合わせは事務局へ>(担当：奥井寛之)

日本真生塾事務局(二ノ湯事務所内) TEL: 075-351-2228 / FAX: 075-315-2310

詳しくはFacebookページをご覧ください。https://www.facebook.com/nipponshinsei

日本真生塾 塾長 岡本幸治

「えとす」購読のご案内

月刊誌「えとす」は毎月一回の発行です。

毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、ぜひお申し込み下さい

年間購読料 1200円

郵便振替口座 01000-4-62360

口座名：新政経懇話会

— お問い合わせ先 —

二ノ湯さとし事務所

電話 075-315-2228

ホームページを開設いたしました  
http://www.ninoyusatoshi.com